

■ヒアリング調査

JR 芦屋駅周辺地区のバリアフリー基本構想の策定に向けて、現状のバリアフリー化の課題や今後の要望等を把握することを目的として、高齢者や障がい者の方々にヒアリング調査を実施しました。

(1) ヒアリング調査の概要

ヒアリング調査は、以下の各団体の方々に実施しました。

表：調査日と調査先

実施日	調査先（参加者）
令和2年1月24日	芦屋市身体障害者福祉協会（2名）
令和2年1月29日	NPO 法人芦屋市手をつなぐ育成会（3名）
令和2年1月30日	芦屋家族会（5名）
令和2年1月30日	芦屋市身体障害児者父母の会（4名）
令和2年2月12日（予定）	老人クラブ連合会（2名程度予定）

(2) ヒアリング調査の内容

ヒアリング調査は、以下の項目について質問形式で実施しました。

表：調査内容

項目	内容
JR 芦屋駅周辺地区の利用目的, 利用状況について	①JR 芦屋駅周辺地区を訪れる主な目的 ②JR 芦屋駅周辺地区を訪れる頻度 ③JR 芦屋駅周辺地区の道路や歩道の通行のしやすさ 駅周辺の施設（建物や道路など）の利用のしやすさ
JR 芦屋駅について	①JR 芦屋駅へのアクセス（主に駅北側か駅南側のどちらか） ②JR 芦屋駅までの主な交通手段 ③JR 芦屋駅の現状の問題点や今後の意見・要望 ④普段利用する市内の駅
市内の路線バス（阪急バス）について	①主に利用する市内の路線バス（阪急バス） ②普段よく利用される路線バス（阪急バス）のバス停 ③路線バス（阪急バス）のバス停までの交通手段 ④路線バス（阪急バス）について、現状の問題点や今後の要望・意見
今後のバリアフリーのまちづくりについて	①「JR 芦屋駅南地区における市街地再開発事業等」への意見・要望 ②市内でのバリアフリーのまちづくりを推進するにあたっての意見・提案

(3) ヒアリング調査の結果（中間報告）

1) JR 芦屋駅周辺地区の利用目的・利用状況について

項目	主な意見
訪れる 主な目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ JR 芦屋駅を利用するため（大阪，神戸，三宮方面等への外出） ・ 駅周辺の商業施設，医療機関，金融機関，文化施設，スポーツ施設などを利用するため（駅南側の施設より駅北側の施設の利用が多い）
頻度	<ul style="list-style-type: none"> ・ JR 芦屋駅 「通学で毎日」，「月 2～3 回程度」など ・ 駅周辺施設 「ほぼ毎日」，「週 2～4 回程度」，「月 2～5 回程度」など
現状の問題点 や要望	<p>【道路, 歩道】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 駅南側から 2 号線へ出る道路（駅前線）が狭い ・ 歩道がない道路（芦屋川沿い）や傾斜がきつい交差点（上宮川橋交差点）などがある ・ ラポルテ本館・西館などの床が濡れると非常に滑りやすくなっている ・ 駅北側の商店街には歩行者と自転車が交錯し危険な道路がある ・ 一時的に停車する場所がないため，駅や駅周辺施設への車での送迎が不便 <p>【施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ エスカレーターやエレベーターが少なく使いにくい ・ エレベーターの稼働時間が決まっているので，始発や終電に乗れない ・ エレベーターに音声案内がない ・ 駅南側は駅北側に比べて賑わいが乏しい ・ 商業施設の地下駐車場における車いす用の駐車スペースが商業施設の入り口から非常に遠い場所に設置されている ・ 駐輪場が少ない

2) JR 芦屋駅について

項目	主な意見
アクセス	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生活の拠点からのアクセスが基本 ・ 駅南側より駅北側の施設の利用の方が多いことや，駅北側に停まる路線バスが多く利用されることなどより，駅北側からのアクセスがやや多い
主な交通手段	<ul style="list-style-type: none"> ・ 車（タクシーを含む）・路線バス・自転車・徒歩
現状の問題点 や要望	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅の南北の移動に関する動線が複雑 ・ 駅構内のトイレに関して，「トイレまでの通路が狭い」，「おむつ交換ができるベッドが乳幼児用しかない」，「洋式便器の数が少ない」 ホームにエスカレーターや転落防止柵が必要
普段 利用する駅	<ul style="list-style-type: none"> ・ JR 芦屋駅の利用が多いが，阪急芦屋川駅，阪神芦屋駅の利用もある

3) 市内の路線バス（阪急バス）について

項目	主な意見
主に利用する路線	<ul style="list-style-type: none"> ・市内線の利用が多い ・上記以外では、市内の病院をつなぐバスやみなと観光バスの利用がある
よく利用するバス停	<ul style="list-style-type: none"> ・駅北側 水道橋, 開森橋, 仲池前, 阪急芦屋川など ・駅南側 シーサイドセンター, 緑町, 潮芦屋中央など
交通手段	<ul style="list-style-type: none"> ・徒歩
現状の問題点や要望	<ul style="list-style-type: none"> ・駅北側のバス停のベンチはその配置に切れ目があり、そこに座っている人がいた場合、その人がバスを待っているのかどうかわかりにくい ・1つのバス停に複数の系統が停まる所では、どのバスに並んでいるのかわかりにくい ・同じ名前のバス停が複数あり、それらが互いに離れている場合がある ・バス停までの歩道で傾斜がきつく、歩きにくい所がある ・本数の少ない路線がある ・バスの接近情報がわかるバス停の設置が望ましい ・バス停に設置されている時刻表が夜間見えない場合がある ・ベンチや上屋の設置を希望するバス停がある ・一つのバス停に複数のバスが停車している場合は、本来の降車場所とは違った場所で降車することになるので、その場合はその旨を知らせてもらいたい

4) 今後のバリアフリーのまちづくり

①「JR 芦屋駅南地区における市街地再開発事業等」についての意見・要望

項目	主な意見
再開発事業全般	<ul style="list-style-type: none"> ・高層の再開発ビルができるのは望ましくない。駅南側の道路の幅員を広げるなどにとどめておくべきだ ・再開発事業の駅前広場や再開発ビルなどについて説明するときは、模型など手で触って確認することができるものがあるとわかりやすい ・工事内容の周知などは、早めの情報提供が必要
再開発ビル	<ul style="list-style-type: none"> ・JR 芦屋駅北側で実現できていない施設を整備し、その補完ができるとよい ・公益施設には、多世代交流ができる場所の設置を希望する ・新しくなる JR 芦屋駅と景観上の調和が必要 ・車いす用駐車場の位置や設置台数、エレベーターやトイレの設置などは、その動線を十分に考えて配置してほしい ・スマートフォンアプリの施設案内機能や地図情報などを利用している障がい者の方もいるので、再開発ビル内での移動等がスムーズにできる環境整備が必要
施設計画	<ul style="list-style-type: none"> ・音声付き信号機を設置するなど、障がい者でも渡りやすい歩道等を整備してほしい ・JR 芦屋駅と再開発ビルを結ぶデッキに、雨よけの屋根を設置してほしい ・多世代交流を図る仕掛けとして、駅ピアノを設置してほしい ・駅北側と南側に発着するバスをわかりやすく適切に振り分けてほしい

②市内でのバリアフリーのまちづくりの推進についての意見・提案

項目	主な意見
バリアフリーについて	<ul style="list-style-type: none"> ・街路樹の枝や根が出ている箇所があり危険 ・集会所等の玄関は段差があり、バリアフリー化が進んでいない箇所もある ・市立芦屋病院までの歩道は高低差が激しく、波打っている部分があるので車いすでの移動が困難 ・心のバリアフリーの推進も必要
交通	<ul style="list-style-type: none"> ・阪急芦屋川駅は、一般車の駐車スペースがないため、路上駐車している車が多く、バスの通行等にも支障を及ぼしている ・阪急芦屋川駅周辺の川側の道路の側溝に蓋が必要 ・阪神芦屋駅のエレベーター近くに大きな水溜まりができ、特に視覚障がい者にとっては、それを避けることが困難
施設	<ul style="list-style-type: none"> ・18歳以上の若者が集えて、互いに交流できる場が必要 ・高齢者やパニック障害のある人が、人ごみや騒がしい場所から離れて休憩できるようなパーソンスペースの設置 ・災害時などに障がい者が避難可能な福祉避難所の整備
情報	<ul style="list-style-type: none"> ・公衆電話の設置場所の明確化

(4) ヒアリング調査の結果を受けて(中間報告)

ヒアリング調査結果より、JR芦屋駅周辺地区においてバリアフリー基本構想を策定するにあたって、検討することが必要な項目(案)は以下のとおりです。

① 道路, 歩道, 施設のバリアフリー化

⇒道路, 歩道: 道路拡幅, 歩道設置, 歩道勾配の緩和, 舗装の見直しなど

施設: エスカレーター, エレベーターの設置検討, エレベーターの稼働時間, 音声案内付き信号機の設置, 多世代交流ができる場の創出など

② 歩行者と自転車の動線の分離

⇒通行帯の分離検討, 通行時間帯の制限, 駐輪場の整備など

③ JR芦屋駅のバス停の再配置

⇒わかりやすさと利便性, 安全性の確保

④ 車寄せスペースの整備

⇒JR芦屋駅への送迎などで使用可能な一時駐停車場の設置など

⑤ JR芦屋駅のバリアフリー化の向上

⇒エスカレーターや転落防止ドアの設置, バリアフリースイアの機能充実など

⑥ JR芦屋駅南地区における市街地再開発事業等との連携

⇒駅南北を考慮した全体的な整備方針の検討, 新たなスポットとなるべき“顔”の創出など

ヒアリング調査票

【問1】 JR 芦屋駅周辺地区の利用目的や利用状況についておたずねします。

- ① JR 芦屋駅周辺地区を訪れる主な目的は何ですか。
- ② JR 芦屋駅周辺地区を訪れる頻度はどの程度ですか。
- ③ JR 芦屋駅周辺地区の道路や歩道は通行しやすいですか。
また、駅周辺の施設（建物や道路など）は利用しやすいですか。

【問2】 JR 芦屋駅についておたずねします。

- ① JR 芦屋駅へのアクセスは主に駅北側か駅南側のどちらからですか。
- ② JR 芦屋駅までの主な交通手段は何ですか。
- ③ JR 芦屋駅について、現状の問題点や今後のご意見・ご要望がございましたら、お聞かせください。
- ④ 市内の駅では普段どの駅を利用されますか。

【問3】 市内の路線バス（阪急バス）についておたずねします。

- ① 主に利用する市内の路線バス（阪急バス）は何ですか。
- ② 普段よく利用される路線バス（阪急バス）のバス停はどこですか。
- ③ 路線バス（阪急バス）のバス停までの交通手段は何ですか。
- ④ 路線バス（阪急バス）について、現状の問題点や今後の要望、ご意見がございましたら、お聞かせください。

【問4】 今後のバリアフリーのまちづくりについておたずねします。

- ① バリアフリーのまちづくりを推進するにあたって、「JR 芦屋駅南地区における市街地再開発事業等」についてご意見・ご要望がございましたら、お聞かせください。
- ② 市内でのバリアフリーのまちづくりを推進するにあたって、ご意見・ご提案があれば、お聞かせください。

ヒアリングは以上です。ご協力ありがとうございました。

**JR 芦屋駅周辺地区バリアフリーに関するヒアリング調査
議事録**

日時：令和2年1月24日（金）

10時30分～11時30分

場所：芦屋市役所

【出席者】

芦屋市身体障害者福祉協会	2名
芦屋市建設部都市整備課	柴田主査, 濱砂
株式会社オオバ	坊内, 藤原

【議事次第】

問1 JR芦屋周辺地区の利用目的・利用状況について

■訪れる主な目的, 頻度

- 遠距離の移動の際はJRが便利のため、JR芦屋駅はよく利用する。
- 駅を利用したついでに周辺施設で買い物等をするにはあるが、周辺施設の利用のためだけに駅に来ることはない。
- 現在、駅の南側は工事をしている、横断歩道にガードマンがいないときがあったり、店前にタクシーが駐車しているなどの理由で、歩行が大変なのでほとんど利用しない。
- △JR芦屋駅は、月2回ほど利用している。
- △大阪や神戸などに出かけるときは、JR芦屋駅を利用しており、一番よく使う駅だ。
- △自宅は、駅の南側にあるため、以前はタクシーの乗降等で駅南側も利用していた。
- △駅周辺の施設を利用することはあまりない。

■道路や歩道, 施設の課題

- 駅北側のエレベーターの音声がなかったので、つけて欲しいと要望を出したことがある。また、北側のエレベーターの稼働時間が7:00～22:00のため、電車の始発から終電までの時間は稼働して欲しいと要望を出したことがある。
- 駅南側のエレベーターの音声が以前はあったが、今は切れている。
- △駅南側は工事をしているため、あまり使わないようにしている。

問2 JR芦屋駅について

■駅へのアクセス, 交通手段

- 自宅は南側にあるが、バスで駅北側まで行って駅を利用している。用事があるときは南側に行くこともある。
- JR芦屋駅までは、病院ネットワークバスもしくは、路線バスで行く。
- △阪急バスが停まるので、駅の北側を利用している。

■現状の問題点や今後の要望など

- 工事をしているところは仮歩道などで人を通しているが、いっそのこと駅南側の道路を全て封鎖して、全てまとめて工事をしたい。
- 駅北側の商店街のアーケード、バス停周辺などの歩道は狭く、段差や凹凸が多く、動線も入り組んでいる。自転車も通るためヘルパーさんがいなければ安全に通れない。
- 自転車が後ろから接近するとわからない。自転車が通るときは一度立ち止まるため、移動に時間がかかる。
- 歩道幅員が狭いため、ヘルパーさんと縦一列になって通る場所もある。

- 路肩のパーキングチケットをやめて歩道を広げるように提案したことがある。
- △ヘルパーさんと二人で安全に歩けるくらいの歩道幅員を確保して欲しい。
- △駅南側のエレベーターからタクシー乗り場までの通路が狭い。
- △駅北側の花屋の前に段差が数段あり、歩きにくい。

■普段利用する駅

- JR芦屋駅を最も利用する。次いで、阪急芦屋川駅、阪神芦屋駅の順である。
- 協会の施設が阪急沿線にあるため、阪急線を利用することがある。駅まではバスで行く。
- 奈良方面に行くときは、近鉄線への乗換のために阪神線を利用するが、ほとんど利用しない。
- △阪急線は、協会関係に行くときに利用する。
- △阪神線は、病院を利用する時に利用する。
- △阪急線と阪神線は同じくらいの頻度で利用する。どちらの駅にもバスで行く。

問3 路線バス（阪急バス）について

■主に利用する市内の路線バス、バス停など

- 市内線を主に利用している。有馬線はあまり利用しない。
- 潮芦屋中央から乗車する。降りるときは、買い物があるときは潮芦屋中央で降りる。買い物がないときは陽光町で降りる。
- 路線バスではなく病院ネットワークバスが、片道30分くらいで南芦屋浜病院～福祉センター～芦屋セントマリアクリニック～市民病院まで行けるので利用している。
- △市内線を主に利用している。有馬線はあまり利用しない。
- △高浜～シーサイド前～芦屋駅を利用する。
- △シーサイドセンターが最寄りである。
- △自宅からバス停までは歩いていく。

■現状の問題点や今後の要望など

- 駅南側の開発によってバスの経路がどのように変わるのかまだ聞いていない。(市：南方面に行くバスは駅南側の発着場に停まるようにする予定である。)
- 北側の歩道幅員はもうどうにもならないので、あとはレベルの調整になると思う。
- 南行きのバスと北行きのバスの発着場が時間ごとに北側だったり南側だったりバラバラで困る。
- 自宅付近の西方面に行くバスを利用するときは、バス停に行くまでに横断歩道を渡らないといけないので、音声付きの横断歩道にして欲しいと警察に要望を出している。
- シーサイドセンターのバス停は、もともと消防署があったことからバス停が設置できなかった。今は消防署が移転したので、バス停を移設して欲しいという案を出している。
- シーサイドセンターは、郵便局や医療センターがあり、よく利用するバス停なので改善して欲しい。一人で長い距離を歩くのはつらい。
- バスから降りる際、バスが重なったときは停車位置がずれてしまい、降車したところに鉄柱やガードレールがあると、それにぶつかることがあり、パニックになる。停車位置がずれるときは運転手から声をかけて欲しいと要望を出している。
- バスの降車時に、足元のグレーチングがあり、杖をつくので幅が広いと杖がはまってしまう。
- バス停周辺に水溜りが多い。
- 一人での移動とヘルパーさんとの移動の割合は半々くらいである。土日などバスが運行していない時間帯は、自宅から福祉センターまで一人で歩く。
- △シーサイドセンターのバス停は3つに分かれていて距離も長いため、改善して欲しい。
- △バスの来る時間に合わせて行くのでバス停で待ったり、ベンチに座ったりすることはあまりない。
- △ヘルパーさんや家族と一緒に歩くことが多く、一人で歩くことはあまりない。

問4 今後のバリアフリーのまちづくりについて

①「JR芦屋駅南地区における市街地再開発事業」についての意見・要望

- 模型などがあると、手に触って確認することができるので事業の内容などがわかりやすい。口頭での説明ではわからない。
- エレベーターには音声をつけて欲しい。始発から終電までの時間帯は稼働して欲しい。
- タクシー乗り場が工事中で使用できないことをわかりやすいところに案内を出して欲しい。
- 工事等の案内は2, 3週間くらい前には伝えておいて欲しい。
- 健常者で見えていても工事に気付かないことがあるので、月に1回くらい工事の現状を報告する機会などがあれば良い。
- △ベンチなどを置くときに、2人が歩くスペースは確保しておいて欲しい。

②市内でのバリアフリーのまちづくりに関する意見・提案

- 駅南側の開発と同時に駅北側の道路も改善して欲しい。
- 阪急線が高架になればバスがスムーズに動くようになると思う。
- バス発着場周辺の道路の高さが水平になれば良い。
- 阪神芦屋駅のエレベーター近くに大きな水溜まりができる。
- 歩くときに茂った枝葉に当たることがある。街路樹は剪定するか枝をワイヤーで吊るよう要望を出している。敷地から出ている枝などは行政や警察から所有者に言って欲しい。
- △阪急芦屋駅のローソン前の歩道が狭い。
- △歩道に松の木などの枝が出ている場所があり危ない。

JR 芦屋駅周辺地区バリアフリーに関するヒアリング調査 議事録

日時：令和2年1月29日（水）
10時30分～11時20分
場所：芦屋市役所

【出席者】

NPO 法人 芦屋市手をつなぐ育成会	3名
芦屋市建設部都市整備課	柴田主査, 濱砂
株式会社オオバ	坊内, 藤原

【議事次第】

問1 JR芦屋周辺地区の利用目的・利用状況について

■訪れる主な目的, 頻度

- 大丸, コープでの買い物時に利用する。スポーツ施設（セントラルスポーツ）に3, 4回/週は通っている。たまに食事もする。
- 電車の利用より周辺施設の利用の方が多い。北側施設の利用が多く, 南側の施設はあまり利用しない。
- 遠方に行くときにはJRを利用する（2, 3回/月程度）
- △クリニック（ラポルテ）, 朝日カルチャーセンター（オカリナ）, ジュンク堂, 社会保険福祉事務所などで4, 5回/月程度利用している。たまに食事もする。
- △JRの利用はあまりない。（年に数回程度）
- △阪神電車の利用も年に数回程度で, 基本的には車かバイクを利用。
- △車で人の送迎などでは駅南側を利用する。
- コープでの買い物等で毎日のように利用している。

■道路や歩道, 施設の課題

- 障がいのある子どもは, 山手幹線のような歩道があるところは良いが, 歩道がないところは歩きにくい。
- 車を運転する側からすると, 自転車の走行が予測できないときがあり危険を感じる。特に電動自転車はスピードも出るので怖い。
- 駅や駅周辺施設への車での送迎は（駅北側の三井住友銀行前など）駐車場所がないため行にくい。
- ラポルテのエレベーターの速度が遅い。2台の運行連携がとれておらず効率が悪い。
- △歩行者と自転車が交錯し危険なため, それぞれの通行帯を徹底して欲しい。
- 駅, ラポルテ, バス停周辺は通りにくい。特に自転車での通行がしにくい。自転車を停めて徒歩で移動しないとイケない。

問2 JR 芦屋駅について

■駅へのアクセス, 交通手段

- 駅北側からアクセスする。
- 電車利用時は徒歩（15分程度）かバスで来る。
- スポーツ施設を利用するときは車を利用する。
- △車での送迎時は駅南側，自身の用事等では直接駅北側を利用する。
- △単独ではバイク，自転車，送迎では車での利用が多い。
- △自宅から徒歩だと20～30分程度要する。

■現状の問題点や今後の要望など

- JRの駅舎内で視覚障がい者の方が階段の位置を見つけられず，困っているのを見たことがある。（誘導ブロックに問題があるのではないかな）
- △歩行者と自転車が交錯し危険である。今後，駅南側が再開発されると同じような問題が起こる可能性があるので，留意して欲しい。
- △ホームにエスカレーターを設置して欲しい。
- △駅及び駅周辺の建物のバランス，景観が気になる。建物間の連携が必要である。

■普段利用する駅

- JR 芦屋駅

問3 路線バス（阪急バス）について

■主に利用する市内の路線バス, バス停など

- あまり利用しないが，利用する場合は駅から水道橋へ芦屋病院，苦楽園行きの系統を利用する。（多くても4，5回/月）
- JR 芦屋駅へ向かうバスはあまり利用しない。（駅へは徒歩か車を利用している。）
- バス停までは徒歩で行く。
- △緑町から JR 芦屋駅まで利用する。（2，3回/年程度）
- 自宅は翠ヶ丘町で岩園町へ向かう系統のバス（バス停：仲池前）があるが，1時間に2本しかないためほとんど乗車しない。1時間に2本も30分おきではないため，時間的に利用しにくい。
- JR 芦屋駅周辺での買い物帰りで雨などの場合は，バスのタイミングが合えば利用する。
- 娘は利用する時間帯が合うため，JR 芦屋駅から利用している。
- JR 芦屋駅へ向かうときは，みなと観光バスの方が便利のため，阪急バスより利用している。

■現状の問題点や今後の要望など

- JR 芦屋駅の駅北側でのバス停はベンチが使いにくい。ベンチの配置に切れ目があるなど，バス待ちで並んでいるのか並んでいないのかわかりにくい場合がある。
- もう少し小ざれいにして欲しい。
- バス停ではバスの接近情報などがわかると良い。バスが遅れて2，3台が連なって運行している場合がある。
- △駅南側の再開発では駅南側にもバス停が設けられるので，系統ごとに駅北側と分けるなど考えて欲しい。
- △最寄りバス停には屋根もついており便利だと思う。
- 本数の問題（1時間に2本）
- 1つのバス停に複数の系統が停まるので，どの系統のバスに並んでいるのかわからない場合がある。系統ごとに並ぶなどわかりやすくして欲しい。
- ベンチはお年寄り優先などのルールがあれば良い。
- 最寄りバス停には屋根がついていない。みなと観光バスのバス停にも屋根はついていない。

問4 今後のバリアフリーのまちづくりについて

①「JR芦屋駅南地区における市街地再開発事業」についての意見・要望

- （一部でも良いので）デッキには屋根を設置して欲しい。
- 交流を図る仕掛けとして、駅ピアノ（駅にピアノを置いておいて、自由に弾けるようにする）を実施して欲しい。
- △公益施設として、子どもから高齢者、障がい者を含めた多世代の人が集える場所（共生できる場所）が欲しい。
- △例えば、規制緩和をして、老人ホームと保育所、幼稚園がいっしょになって集えるような場所を実験的に提供すれば、新しいコミュニティができるのではないかと思う。
- △せっかく再開発するのであれば、新しい試みをして欲しい。
- △芦屋は空き地があまりないので、JRの駅の線路上部を有効利用すれば良いと思う
- エレベーターは施設に向かう動線に設置して欲しい。（エレベーターが動線から外れた遠い位置にあると不便。）

②市内でのバリアフリーのまちづくりに関する意見・提案

- 公衆電話の位置情報等がわかるようにして欲しい。
- △バイクに比べて自転車は駐輪場が混雑している。
- △駅周辺において自転車の通行禁止時間帯を設けてはどうか。一方で駐輪場をきちんと整備して欲しい。
- △阪神芦屋駅及び市役所間の広場などは、阪神電車と市が一体となって整備をしてほしい。広場整備などは阪神電車だけでは整備は難しい。
- 気候が良い時季は、時間帯によって駅周辺の市営駐輪場の一時利用や歩道沿いのラック式駐輪場などは、空きがなく待つことがある。駐輪場を増やして欲しい。

JR 芦屋駅周辺地区バリアフリーに関するヒアリング調査 議事録

日時：令和2年1月30日（木）

13時30分～14時30分

場所：芦屋市役所

【出席者】

芦屋家族会	5名
芦屋市建設部都市整備課	柴田主査, 濱砂
株式会社オオバ	坊内, 藤原

【議事次第】

問1 JR芦屋周辺地区の利用目的・利用状況について

■訪れる主な目的, 頻度

○医療機関, 買い物（コープ, ジュンク堂など）, 銀行, 市民センター, ルナホールの利用のために週4回ほど来ている。自転車 coming。

△銀行等の利用のため, 週3回ほど来ている。

△三宮や大阪に行く場合に, JR線はよく利用する。

△駅に来る際は家族に車で送ってもらう。帰る際は, すぐにバスがあれば利用するが, なければ歩いて帰る。

□JRは月2～3回ほど友達に会うために利用する。

□コープや集会所, 図書館利用のため, 週2～3回は来ている。

▽コープと市民センターにそれぞれ月2回ほど徒歩で来ている。

▽JR線は使わない。

◇コープ, 医療機関, 銀行を利用するためにほぼ毎日来ている。

◇自家用車で来ることがほとんどだが, 駐車する場所がなく, 一時的に路上駐車することになってしまう。

■道路や歩道, 施設の課題

○松葉杖を使用しているときに, ラポルテ本館・西館の床が濡れていて非常に滑りやすかった。ゴムの滑り止めを付けるなど, 床の材質まで配慮したデザインにしてほしい。

○駅の北側と南側を比較すると, 南側の賑わいが乏しい。

△駅のトイレが古い。

□エレベーターやエスカレーターがあまりない。

◇駅南側の国道2号に出るための道が狭く, 車で通りにくい。

◇歩道が傾いている場所はとても歩きにくい。

問2 JR芦屋駅について

■駅へのアクセス, 交通手段

○駅南側からアクセスする。

○交通手段は, 自転車が5割, 自家用車が4割, 徒歩が1割である。

△駅南側からアクセスする。

△交通手段は, 家族の送迎が5割, 自転車が4割, バス1割である。

□駅北側からアクセスする。

□交通手段は徒歩。雨の場合はバスを利用する。

- ▽駅北側からアクセスする。
- ▽交通手段は徒歩。
- 駅北側からアクセスする。
- 交通手段は自家用車，バス，タクシー。

■現状の問題点や今後の要望など

- 駅のホームに降りる場所などにエスカレーターをつけて欲しい。
- ホームに転落防止の扉をつけて欲しい。
- トイレをきれいにしてほしい。
- モンテメールとコープのトイレはきれいになっている。
- △自転車は駐輪する場所が少ないため，駐輪場を増やしてほしい。
- △バスは南側に着くものと，北側に着くものの両方あり，わかりにくい。
- △駅にピアノが置いたり，子供の絵が飾ってあるなど，市民が参加できる広場があると豊かになる。
- トイレの数が少ない。和式便器は足腰が悪いと使いにくい。

■普段利用する駅

- JR 芦屋駅
- △JR 芦屋駅。阪神芦屋駅も利用する。
- JR 芦屋駅。阪神芦屋駅も利用する。
- ▽阪急芦屋川駅
- ◇JR 芦屋駅

問3 路線バス（阪急バス）について

■主に利用する市内の路線バス，バス停など

- 最寄りのバス停は，緑町。
- △最寄りのバス停は，浜風町。
- 最寄りのバス停は，水道橋。
- ▽最寄りのバス停は，阪急芦屋川。
- ◇最寄りのバス停は，岩園橋か仲池前。

■現状の問題点や今後の要望など

- 座るためのベンチが必要。荷物をかけておくためのフックがあるなどの配慮があると良い。
- △夜は掲示してある時刻表が暗くて見えない。
- ◇バス停までの歩道で側溝に向かって傾いている箇所があり，歩きにくい。
- ◇ベンチが雨で濡れて座れないことがあったり，夏は日よけになるのでバス停に屋根をつけて欲しい。
- ◇阪急芦屋川駅のバス停にはベンチがあると良い。

問4 今後のバリアフリーのまちづくりについて

①「JR芦屋駅南地区における市街地再開発事業」についての意見・要望

- ▽いきなり駅南側に高層ビルができると異様に見えるのではないか。
- ▽上階の住居は価格が高くて，計画のために立ち退いた人が入居することができないのではないか。
- ▽再開発ビルの2階のお店にも客が入ってくれるようにする必要がある。
- ▽道路を広げるなどにとどめ，南側の景色がすっきりと見えるような計画がいいと思う。

②市内でのバリアフリーのまちづくりに関する意見・提案

- ステンレス製の側溝蓋は滑りやすい。
- 緑を増やすなど、30～50年先を考えた景観を作ってほしい。心のバリアフリーを進めて欲しい。
- 有事の際、障がい者が避難することのできる福祉避難所を整備して欲しい。健常者が福祉避難所を利用して障がい者が利用できなかった事例もあるため、運用の仕方を含めて検討してほしい。
- ▽阪急芦屋川駅は一般車の駐車スペースがないため、路上駐車している車が多い。バスは路上駐車を避けるため反対車線にはみ出して危険である。
- ◇阪急芦屋川駅周辺の川側の側溝に蓋をしてほしい。車での送迎時に乗降者が溝に落ちたことがあった。
- ◇高齢者やパニック障害のある人が、人ごみや騒がしい場所から離れて休憩できるようなパーソンスペースがあると良い。
- ◇買い物の途中で休憩できるようなベンチなどが欲しい。

JR 芦屋駅周辺地区バリアフリーに関するヒアリング調査 議事録

日時：令和2年1月30日（木）

14時30分～15時30分

場所：芦屋市役所

【出席者】

芦屋市身体障害児者父母の会	4名
芦屋市建設部都市整備課	柴田主査, 濱砂
株式会社オオバ	坊内, 藤原

【議事次第】

問1 JR芦屋周辺地区の利用目的・利用状況について

■訪れる主な目的, 頻度

- 週1回, 子供の勉強のために来て, ついでに買い物などを行う。
- 週に3回くらい来ている。夫は毎日来ている。
- 買い物や銀行利用のため2週間に1回ほど来ている。
- 車いすの子どもを乗せているため駐車場が使いづらく, 緊急時以外はJR芦屋駅周辺を使用しない。駐車場が完備されている浜, 西宮, 東灘方面を利用する。
- 本当は頻繁に来たいが, 最低限になっている。
- 買い物や医療機関の利用のために, 頻繁に利用している。
- 息子は京都の大学に通っており, 毎日JR芦屋駅を利用している。

■道路や歩道, 施設の課題

- 車道と歩道の間に段差がある。
- 上宮川橋交差点の歩道の傾斜がきつくて, 車いすから子供が落ちてしまったことがある。
- 地下駐車場に車を停めているが, 車いす用の駐車スペースが施設入口からとても遠い。
- 駅北側のエレベーターの稼働時間を延ばしたり, デッキにある階段にはスロープを設置するなどして欲しい。
- 芦屋川沿いの道はバスが通っていて, 歩道がほとんどないので危ない。傾斜もきついで阪急芦屋川駅に行く場合は遠回りしないと行けない。
- 街路樹の根が出ている場所があり危ない。
- ラポルテ西館の地下駐車場へ向かうエレベーターが9時から17時までしか稼働していない。
- 自転車の駐輪場までの距離が遠い。自転車を置く場所が少ない。
- エレベーターやエスカレーターが少なく, 使いにくい。
- 駅北側のコープに行くラポルテ東館からデッキに出るところの手動のガラス扉は重い。自動扉だとありがたい。
- 地下への階段が薄暗く, 急勾配なため子供が階段から落ちてしまったことがある。
- 芦屋市内のほとんどの駅は障がい者にとって使いにくい。
- 駐車場が暗く, 高齢者や女性にとっても使いにくいと思う。
- 駐輪場の空きがなく, 半年以上順番待ち状態にある。
- 年3回, 静岡の病院に行く際, 始発の電車を利用しているが, 駅北側のエレベーターが稼働しておらず, とても不便に感じている。
- 道路の白線が薄れて見えなくなっている。
- 身体障がい者用の駐車場を, 健常者が利用している。
- 銀行の前に路上駐車している人が多い。

▽モンテメールの駐車場を以前は使っていたが、駅と直結した通路が閉鎖されたので利用しなくなった。

問2 JR芦屋駅について

■駅へのアクセス, 交通手段

- 駅北側からアクセスする。
- 交通手段は自家用車。一人で駅を利用する場合は徒歩。
- △駅北側からアクセスする。
- △交通手段は自家用車。
- 駅南側からアクセスする。
- 交通手段は自家用車。
- ▽駅北側からアクセスする。
- ▽交通手段は自家用車。

■現状の問題点や今後の要望など

- JR駅構内のトイレをきれいにしてほしい。
- トイレへの道が狭い場所がある。
- △阪急線北側の一方通行の道路が狭くて、車で通る際に危ない。
- トイレにベッドがなく、おむつ交換ができない。
- 商業施設に憩える場所やきれいなトイレが欲しい
- 駅に直結したエレベーターが欲しい。
- ▽夜の路上が暗い。

問3 路線バス（阪急バス）について

■主に利用する市内の路線バス, バス停など

- 最寄りのバス停は開森橋か阪急芦屋川。
- △最寄りのバス停は東山町。
- 車いすでバスに乗れるのか、車いすで乗れるようなバス（低床車両）が来るのかわからないので利用しない。
- ▽最寄りのバス停は甲南高校前。

■現状の問題点や今後の要望など

- 芦屋駅で乗換えをせずに済むよう南側と北側を周遊するバスが欲しい。
- △メインとなるバス停にはベンチや上屋があると良い。

問4 今後のバリアフリーのまちづくりについて

① 「JR芦屋駅南地区における市街地再開発事業」についての意見・要望

- 公益施設の中に集会所があれば便利だと思う。
- 今のJR芦屋駅北側で実現できない施設を新たに作る施設で補完して欲しい。
- 再開発ビルのほうに障がい者用の施設を充実させるのであれば、そのことを考慮した動線で駐車場, エレベーター, トイレを配置して欲しい。
- 自転車のスピードが出ていて危ないので、自転車と歩行者の動線分離を考えて欲しい。
- 障がい者はアプリの案内機能などを利用している人も多い。常に施設の情報をアップデートするなど、情報を利用した最先端のバリアフリーに芦屋が先進的に取組んで欲しい。
- ▽雨が降った時に傘がなくても車イスがスムーズに通れるように、庇や雨除けをつけて欲しい。
- ▽音声付きの信号機や、歩行時間を長めに設定するなど、障がい者でも渡りやすい信号に

して欲しい。
▽集会所等の施設で安心して1時間くらい子供を預けておきたい。

② 市内でのバリアフリーのまちづくりに関する意見・提案

- 集会所的な施設は基本的に18歳未満の利用に限られ、また夕方には閉まってしまうので、18歳以上が集える場所が欲しい。
- 子供はどんどん大きくなっていき、家に居たくなくなる。外での居場所が欲しい。
- 18歳以上の人が夕方以降でも集まることのできる場所が欲しい。
- 集会所は玄関の段差など、バリアフリー化が進んでいない。
- ▽自宅（甲南高校前）から警察学校の前の市立病院までの道は坂のアップダウンが激しく、歩道もガタガタしているため車いすでの通行は困難だ。